

Ukiha Bypass
Construction summary

国道210号
浮羽バイパス



国土交通省 九州地方整備局
福岡国道事務所

バイパスの必要性

当該地域の社会活動で欠かせない東西方向への移動(約3万台/日)に対して、国道210号だけでは幹線道路としての機能を満たしていないため並行する主要地方道浮羽草野久留米線と堤防道路に負担をかけています。



主要地方道浮羽草野久留米線



堤防道路

写真 国道210号に並行する東西道路

- ・国道210号は救急車が追い抜きできる道路幅員(9.0m)を確保している区間は**全延長の約4割**にとどまっています。
(国道3号:約8割)
- ・国道210号の**歩道整備率は約6割**であり、安全・安心に歩行者・自転車が走行できない状況です。(国道3号:約9割)
- ・地域の生活を支える代表である**医療活動は**、並行路線の幅員が狭いことから、**国道210号に頼らざるを得ない状況**であるが、救急搬送時の道路走行への時間的信頼は低いとの声もあります。

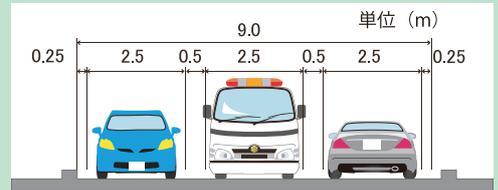


図 救急車が追い抜きできる幅員

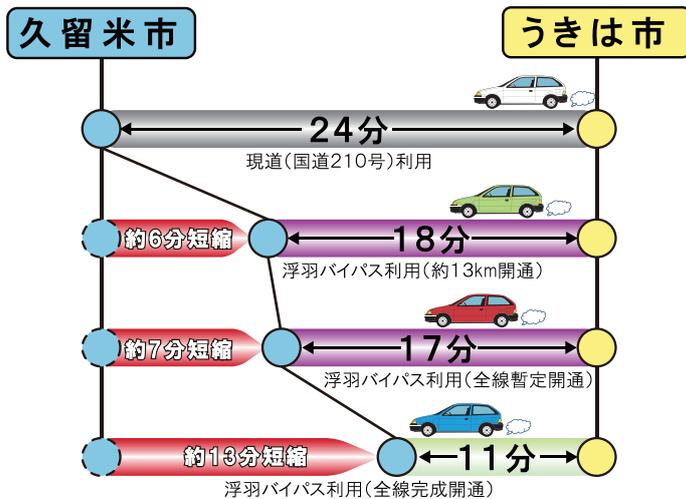
(久留米広域消防本部浮羽消防署へのヒアリングより)

バイパスができることによる効果

—直接的に感じる効果—

◆ 時間短縮

・バイパス全線整備により、旧田主丸・旧吉井町・旧浮羽町の3市街地を通過する時間が国道210号現道利用と比べ、約13分短縮されます。



現道利用より、約13分短縮

◆ 渋滞緩和

・バイパス整備により、国道210号の交通渋滞が緩和されます。



バイパス未整備時の国道210号は交通混雑。



バイパスが開通した区間の並行する国道210号は交通混雑緩和。

◆ 交通安全の向上

・バイパス整備により、国道210号の交通量が減少し、安全性が向上します。



バイパス未整備時の国道210号は交通量が多く危険。



バイパスが開通した区間の並行する国道210号は安全性が向上。

—間接的に感じる効果—

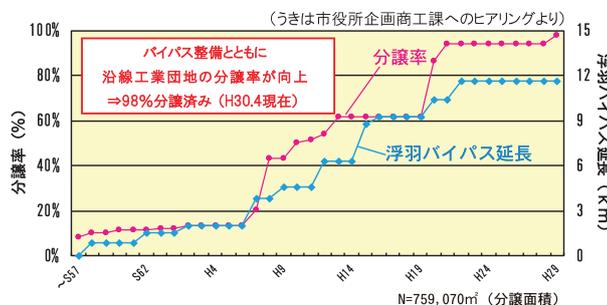
◆ 新たな通行空間の構築



車道との分離により安全な歩行空間が確保されます。

◆ 企業立地の促進

・浮羽バイパスの開通もあり、沿線の工業団地分譲率が増加傾向にあります。企業立地の促進に伴い、地元の雇用拡大にも貢献していると感じます。



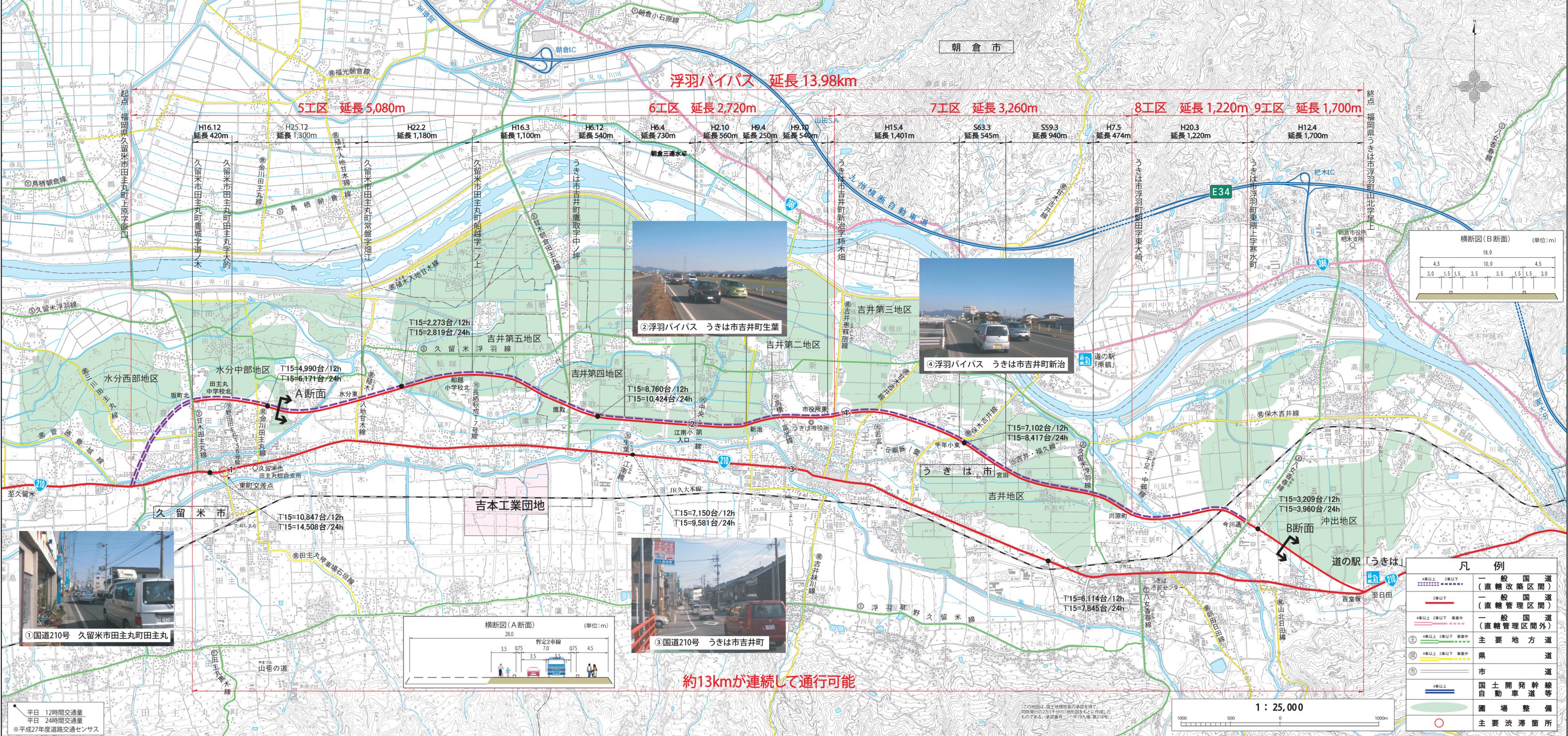
◆ 救急医療活動の支援

・輸送経路の選択肢が増えたことは、救急搬送にとってメリットです。

久留米広域消防本部ヒアリング結果より

◆ 安全・安心な地域創出

・平成24年7月や平成29年7月の九州北部豪雨時に各地で路面冠水等による通行止めがありました。浮羽バイパスの通行止めはなく、災害に強い道路として機能しました。



浮羽バイパス 延長 13,98km

5工区 延長 5,080m

6工区 延長 2,720m

7工区 延長 3,260m

8工区 延長 1,220m

9工区 延長 1,700m

H16.12 延長 420m

H25.12 延長 1,300m

H22.2 延長 1,180m

H16.3 延長 1,100m

H6.12 延長 540m

H6.4 延長 730m

H2.10 延長 560m

H9.4 延長 250m

H9.10 延長 540m

H15.4 延長 1,401m

S63.3 延長 545m

S59.3 延長 940m

H7.5 延長 474m

H20.3 延長 1,220m

H12.4 延長 1,700m

T15=2,273台/12h
T15=2,819台/24h

T15=4,990台/12h
T15=6,171台/24h

T15=10,847台/12h
T15=14,508台/24h

T15=8,760台/12h
T15=10,424台/24h

T15=7,150台/12h
T15=9,581台/24h

T15=7,102台/12h
T15=8,417台/24h

T15=3,209台/12h
T15=3,960台/24h

T15=6,114台/12h
T15=7,845台/24h

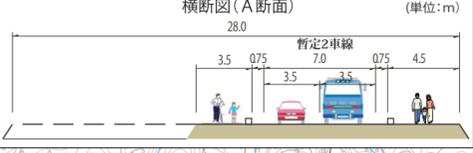
①国道210号 久留米市田主丸町田主丸

③国道210号 うきは市吉井町

②浮羽バイパス うきは市吉井町生葉

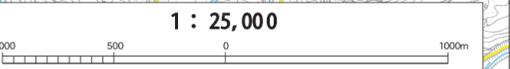
④浮羽バイパス うきは市吉井町新治

約13kmが連続して通行可能



凡例

	一般国道 (直轄改築区間)
	一般国道 (直轄管理区間)
	一般国道 (直轄管理区間外)
	主要地方道
	県道
	市道
	国土開発幹線自動車道等
	圃場整備
	主要渋滞箇所



平日 12時間交通量
平日 24時間交通量
※平成27年度道路交通センサス

この地図は、国土院の承認を得て、国土地理院の25万分の1地形図をもとに作成したものである。(承認番号：平19年規第218号)

事業概要

浮羽バイパスは、福岡県久留米市～うきは市間の国道210号における交通混雑の解消や交通安全の確保、さらには地域間の交流や産業振興の支援を目的とした延長約14kmのバイパスです。

昭和48年度に事業に着手した後、昭和52年度より用地買収に着手し、昭和59年の吉井地区の開通以降、順次開通をしてきました。

平成25年12月7日に約1.3kmが開通し、現在、浮羽バイパス約14kmのうち、約13kmが通行可能です。

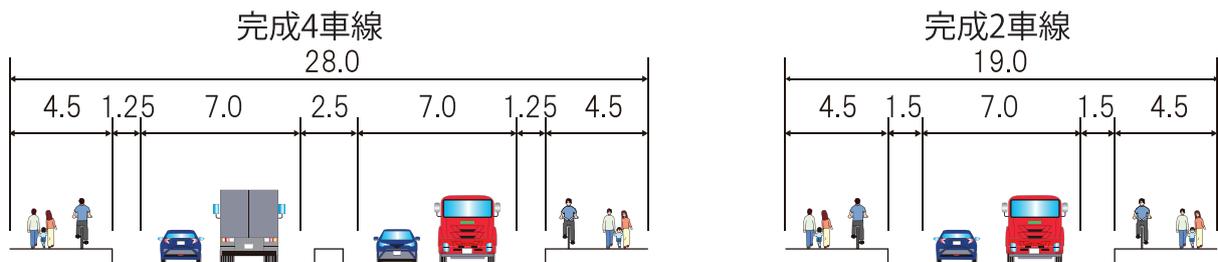


道路の諸元	
区間	(自)久留米市田主丸町上原 (至)うきは市浮羽町山北
延長	約14.0km
道路規格	第3種1級 第3種2級
設計速度	80km/h 60km/h
車線数	4車線 2車線

◆ 事業の経緯

昭和48年度	事業化
昭和52年度	用地買収着手(宮田交差点～県道81号接続)
昭和54年度	工事着手(宮田交差点～県道81号接続)
昭和58年度	0.9km 宮田交差点～県道81号接続 開通 (2/4)
昭和62年度	0.5km 千年小東～宮田交差点 開通 (2/4)
平成 2年度	0.6km 江南小入口～新治交差点 開通 (2/4)
平成 6年度	1.3km 鷹取～江南小入口交差点 開通 (2/4)
平成 7年度	0.5km 県道81号接続～川原町交差点 開通 (2/4)
平成 9年度	0.8km 新治～市役所東交差点 開通 (2/4)
平成12年度	1.7km 今川通～百堂坂交差点 開通 (2/2)
平成15年度	1.1km 船越小学校北～鷹取交差点 開通 (2/4) 1.4km 市役所東～千年小東交差点 開通 (2/4)
平成16年度	0.4km 坂町北～田主丸中学校北交差点 開通 (2/4)
平成19年度	1.2km 川原町～今川通交差点 開通 (2/4)
平成21年度	1.2km 水分東～船越小学校北交差点 開通 (2/4)
平成25年度	1.3km 田主丸中学校北～水分東交差点 開通 (2/4)
平成26年度	1.1km 用地買収着手(国道210号～甘木田主丸線)

◆ 標準断面図



お問い合わせ

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所

〒813-0043 福岡市東区名島3丁目24番10号 TEL 092-681-4731(代)

ホームページ <http://www.qsr.mlit.go.jp/fukkoku/>

Facebook <http://www.facebook.com/fukkoku.qsr.mlit.go.jp>